

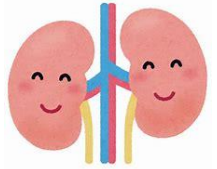
糖尿病性腎症・慢性腎臓病

重症化予防勉強会を

開催しました！

日立保健所健康増進課

令和7年1月21日、
日立市医師会と多賀医師会の共催で、
「令和6年度糖尿病性腎症・慢性腎臓病
重症化予防勉強会」をWeb開催しました。
日立医療圏域内外の臨床医や行政関係者に
ご参加いただきました。




【各市における糖尿病性腎症重症化予防の取組みについて】 各市の行政担当者

各市では、特定健康診査の受診者のうち、血糖・血圧・腎機能（eGFR）・尿蛋白の項目で一定の基準値を超えたハイリスク者に対して、医療機関への受診勧奨および保健指導を実施しています。

- 日立市**: 今年度から全ハイリスク者に介入。特に血圧については、基準値をⅢ度（180/110mmHg）からⅡ度（160/100mmHg）に引き下げ、対策を強化しています。
- 高萩市・北茨城市**: 2市で共通の基準を設定し多賀医師会と連携し令和5年度から事業を実施。これにより、受診状況の早期把握と再勧奨の実施、医療機関受診率の向上、治療内容を反映した保健指導の実施が可能となり、効果的な重症化予防を目指しています。

【CKD病診連携—日立市医師会の取組み】

日立市医師会CKD対策推進委員会 委員長 山形文子先生




日立市医師会は2017年からCKD対策推進委員会を立ち上げ、健康づくり推進課と連携して、かかりつけ医と腎臓専門医の協力体制の構築や紹介基準の策定に取り組んでいます。

今年度、日立総合病院を高度な医療を行う医療機関とし、腎臓専門医のいる4医療機関をかかりつけ医からの紹介を受ける専門医療機関とする、新たな連携体制となりました。

【CKDの日常診療におけるQ&A】

ひたち腎臓病・生活習慣病クリニックたんぼぼ 院長 植田敦志先生



年齢別のCKD患者の頻度や予後、世界的な透析患者数の予測などの統計データ紹介の後、地域の先生からいただいた日常診療における疑問や行政からの相談について、Q&A形式で解説されました。

- ①薬剤（NSAIDs、活性型VitD製剤、RAS阻害剤）の処方のポイントや注意点
- ②降圧管理の実際
- ③高齢者の栄養管理を含む食事療法のポイント

主に上記3テーマについて、実際の症例や統計データを元に、明日からの診療に役立つ形で分かりやすく解説いただきました。また、多職種介入の効果や、より早いステージでの専門医併診による進行抑制、高齢化に伴う生理的な腎機能低下や高齢患者との関わり方についても言及されました。